



「実習キット」を使った演習で理解を深める 現場改善入門研修

と き : 2022年 8月 2日(火) (10:00~17:00 1日間コース)
2023年 3月 8日(水)
と ころ : 中産連ビル 研修室 (名古屋市東区白壁三丁目12-13)

ご参加
いただきたい方

- ☑ ものづくり現場に求められる基本知識を理解し改善活動に活かしたい方
- ☑ 効率的に改善活動を進めるための切り口を学びたい方
- ☑ 現在行っている活動が手詰まり気味で改めて改善のテクニックを学びたい方

研修の狙い

仕事には現状をより良くするために「改善」を積み重ねることが求められます。ムダを省き、効率的に仕事をし、利益を積み上げることが重要とされています。本研修ではものづくりにおいて基本となる改善活動の必要性をきちんと理解し、切り口と問題解決の手法を身につけることを狙います。改善の考え方や着眼点を学ぶと同時に具体的な改善のテクニックについて演習キットを活用しながら学ぶため、職場に戻ってからも実践しやすい内容です。

本研修では以下のことを学びます。

- ① ものづくりの基礎知識を理解することで現場改善の必要性を認識
- ② 効果的な改善ポイントを見つけ出すための考え方
- ③ 具体的な事例を含む改善活動のテクニック



研修イメージ

プログラム

1. 改善がなぜ必要なのか

- (1) どのような強みが必要なのか
 - ① 買ってもらうための競争力とは
 - ② 儲けるための競争力とは
- (2) 原価のしくみを知る
- (3) 「品質・コスト・納期」の3本柱
- (4) ねらいの品質とできばえの品質
- (5) 品質とコストの関係
- (6) 理想的な現場とモノの流れ
 - ① 生産期間の短縮
 - ② 生産性向上の事例

2. 改善の見方と考え方

- (1) 解決すべき問題とは何か
- (2) 問題解決の4つのポイント 【個人演習】
- (3) 問題解決に役立つ手法
 - ① QCC手法を問題解決に活用する
 - ② パレート図を活用する 【個人演習】

3. 改善のテクニック

- (1) 効率よくモノづくりを行う基本
- (2) 7つのムダを排除する視点を事例で理解する
- (3) 作業改善を体感する
 - ① 無意識にムダな作業をしていることへの気づき
 - ② 30分で劇的に改善する 【実習キットによる演習】
- (4) 段取りを改善する
 - ① 内段取りの外段取り化
 - ② 内段取り短縮化の事例紹介
- (5) 5Sはなぜ進まないのか
 - ① 整理を進める二つの決め事
 - ② 整頓と整列の違いを確認する
- (6) ロット生産と1ヶ生産の違いを知る
 - ① まとめてつくるべきという思い込み
 - ② 1ヶ生産のメリットとは

4. 改善活動の進め方と事例紹介

- (1) 改善活動をはじめる際の体制について
- (2) 優先度判断を行いながら改善を進める
- (3) 現場作業者とのコミュニケーション方法

講師

西村 仁 氏 ジン・コンサルティング代表 生産技術コンサルタント



株式会社村田製作所の生産技術部門で21年間、電子部品の組立装置や測定装置等の新規設備開発を担当し、村田製作所グループ全社への導入設備多数。生産工程設計、工程改善、社内技能講師にも従事。特許多数保有。2007年に独立し、製造業およびサービス業での現場改善による生産性向上支援および、技術セミナー講師として教育支援を行っている。経済産業省プロジェクトメンバー、中小企業庁評価委員等歴任。著書「図面の読み方がやさしくわかる本」(日本能率協会マネジメントセンター、日本図書館協会選定図書)、「加工材料の知識がやさしくわかる本」(同)、「基本からよくわかる品質管理と品質改善のしくみ」(日本実業出版社)他多数。

参加者のコメント



自身にも経験のある事例を数多く紹介いただいたのでわかりやすかった。学んだ内容を是非、活用していきたい。

【輸送機器製造業 製造部】



グループで議論しながらの作業改善実習は楽しかった。作業順を明確にすることの意味をはじめ理解できた。

【電子部品商社 製造部】



現場改善と原価が直結していることがよく理解できた。研修で学んだ内容を会社に戻り、若手社員にも共有したい。

【自動車部品製造業 経理部】



演習で作業時間の短縮を行うためのアイデア出しや改善を体験できた。効率的にコストダウンを進める切口が研修を通して学べた。

【金属加工業 製造部】

企業内研修のご案内

こんな悩みを企業内研修で解決いたします。

お問い合わせ

- ☑ 現場改善を進めるための多様な切口を学びたい。
- ☑ 職場で改善がなかなか進まないため基本を学びたい。
- ☑ 改善マインドを社内に定着させ、改善スキルを高めたい。

TEL : 052-931-9826
 メール : seminar@chusanren.or.jp
 担当者 : 森

「実習キット」を使った演習で理解を深める現場改善入門研修 参加要項／参加申込書

参加費(1名様)	中産連会員33,000円(消費税込) 中産連会員外38,500円(消費税込)
申込方法	① 下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずにファックスにてお送りください。 ・中産連ホームページの各セミナー詳細からもお申込み可能です。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ②受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 開催日の前日(土日祝日を除く)・当日・・・受講料の100%
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 森 〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL052-931-9826 FAX0120-342-340 e-mail : seminar@chusanren.or.jp

参加される日付にレ点をおつけください

年 月 日

2022年 8月 2日(火) 2023年 3月 8日(水)

参加者	所属部課・役職名	氏名(フリガナ)

会社名 _____
 所在地 〒 _____

 TEL _____ / FAX _____

 所属部課・役職名 _____
 申込責任者 _____

 氏名 _____
 E-mail アドレス _____

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数
		百万円	人
中産連連盟会員(○印をお付けください)		会員	会員外

今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。
 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。
 セミナーなどの関連情報の案内を希望しない



FAX 0120-342-340

マネジメント研修事業部 森 行 ★